

シンポジウム

理研の有期雇用問題の解決に向けて

11月27日(月) 19:00~

380名が雇止めの危険に直面した今年3月末。5名が裁判に訴え、労働組合がストライキ権を行使し、国会でもマスコミでも取り上げられ、196名の雇用を守ることができました。しかし、184名は理研での職を失い、雇止めされた技師2名が復職を、研究員に降格したチームリーダーが地位回復を求めて裁判を継続しています。この訴訟に勝利して、違法な雇止めを強行した理研当局を断罪しなければなりません。

世界的な科学雑誌『ネイチャー』(10月25日付)は「日本の研究は、もはや世界トップクラスではない」と指摘しました。研究力低下のもとでの理研の雇止め問題、有期雇用をどうするのか、市民とともに考えます。

主催:理研の非正規雇用問題を解決するネットワーク

共催:理化学研究所労働組合、北足立南部地区労働組合協議会

お問合せ先: rikenhiseikinet@gmail.com

プログラム

●「雇止め撤回訴訟の意義と有期雇用の規制」
弁護士 平井 康太

●連帯あいさつ(ビデオ出演)
参議院議員 田村 智子

●パネルディスカッション
裁判に訴えた研究者・技師、理研労働組合員など

●復職・地位回復を求める署名と募金の訴え



場所

和光市中央公民館 第一会議室(2階)

和光市中央1-7-27 和光市駅下車10分

本集会は、「ZOOM」を併用します。オンライン参加希望の方は、下記のメールアドレスまでお名前とメールアドレスをお知らせください。後ほど、IDとPWを送付いたします。申し込み先: rikenhiseikinet@gmail.com

Change.org署名



<https://chnq.it/NNqzLYJFMZ>